

令和5年度 第1回区民集会運営協議会

令和5年7月24日(月)
第1・2委員会室(区役所8階)

- 1 正副座長について
- 2 区民集会活動概要について
- 3 区民集会のテーマについて（意見交換）
- 4 その他

次回の区民集会運営協議会

令和5年10月26日(木)

連合町会長会議終了後（40分程度見込）

【資料】

資料1 令和5年度 区民集会運営協議会 開催概要

資料2 令和5年度 区民集会運営協議会名簿

資料3 令和5年度 区民集会運営協議会座席表

資料4 区民集会テーマ案

参考資料1 区民集会運営協議会設置要綱

参考資料2 区民集会活動概要

委嘱状

令和5年度 区民集会運営協議会 開催概要

○日時

- ・第1回：令和5年7月24日（月）
 - ・第2回：令和5年10月26日（木）
 - ・第3回：令和6年1月中～下旬頃
- } 同日開催の連合町会長会議が終了次第開始予定
(所要時間:40分程度の見込み)
- ⇒ 時間未定

○場所

千代田区役所8階 第1・2委員会室

○内容

「区民集会」は地域の抱える諸課題に対して、区民と区議会が一体となって取り組み議論する場である。この開催にあたり、企画及び運営等に関する協議の場として、連合町会長8名及び区議会議員で構成する「区民集会運営協議会」を設置している。

令和3、4年度は、「お堀の浄化について」をテーマとし、講演会の開催や関係機関への要望書提出等の活動をしてきた。今年度は、新議長を座長とする新たな体制の下、テーマの検討を行う。また、決定したテーマにもとづき勉強会等を実施予定である。

○出席者

- ・連合町会長（8名）
- ・区民集会運営協議会委員である区議会議員（13名）
- ・幹事出張所長（万世橋出張所長：吉田所長）
- ・副座長就任予定の連合町会会長所管出張所長（和泉橋出張所長：宮原所長）
- ・区議会事務局長
- ・区議会事務局次長
- ・区民集会運営協議会事務局（区議会事務局：山本調査担当係長、高橋）

令和5年度 区民集会運営協議会名簿

連合町会長

役職名	氏名
麴町出張所地区連合町会長	横山 義文
富士見地区町会連合会長	小木曾 正
神保町地区町会連合会長	萩原 勝昭
神田公園地区連合町会長	中曾根 利光 (★)
万世橋地区町会連合会長	井田 洋二
神田駅東連合町会長	津田 慎司
岩本町東神田町会連合会長	大原 正道
秋葉原東部町会連合会長	堀川 充

★…今年度新任された連合町会長

区議会議員

役職名	氏名
区議会議長	秋谷 こうき
区議会副議長	池田 とものり
議会運営委員会委員長	小野 なりこ
議会運営委員会副委員長	大坂 隆洋
議会運営委員会委員	小枝 すみ子
議会運営委員会委員	米田 かずや
議会運営委員会委員	牛尾 こうじろう
議会運営委員会委員	岩佐 りょう子
議会運営委員会委員	春山 あすか
議会運営委員会委員	白川 司
議会運営委員会委員	田中 えりか
議会運営委員会委員	林 則行
議会運営委員会委員	嶋崎 秀彦

理事者

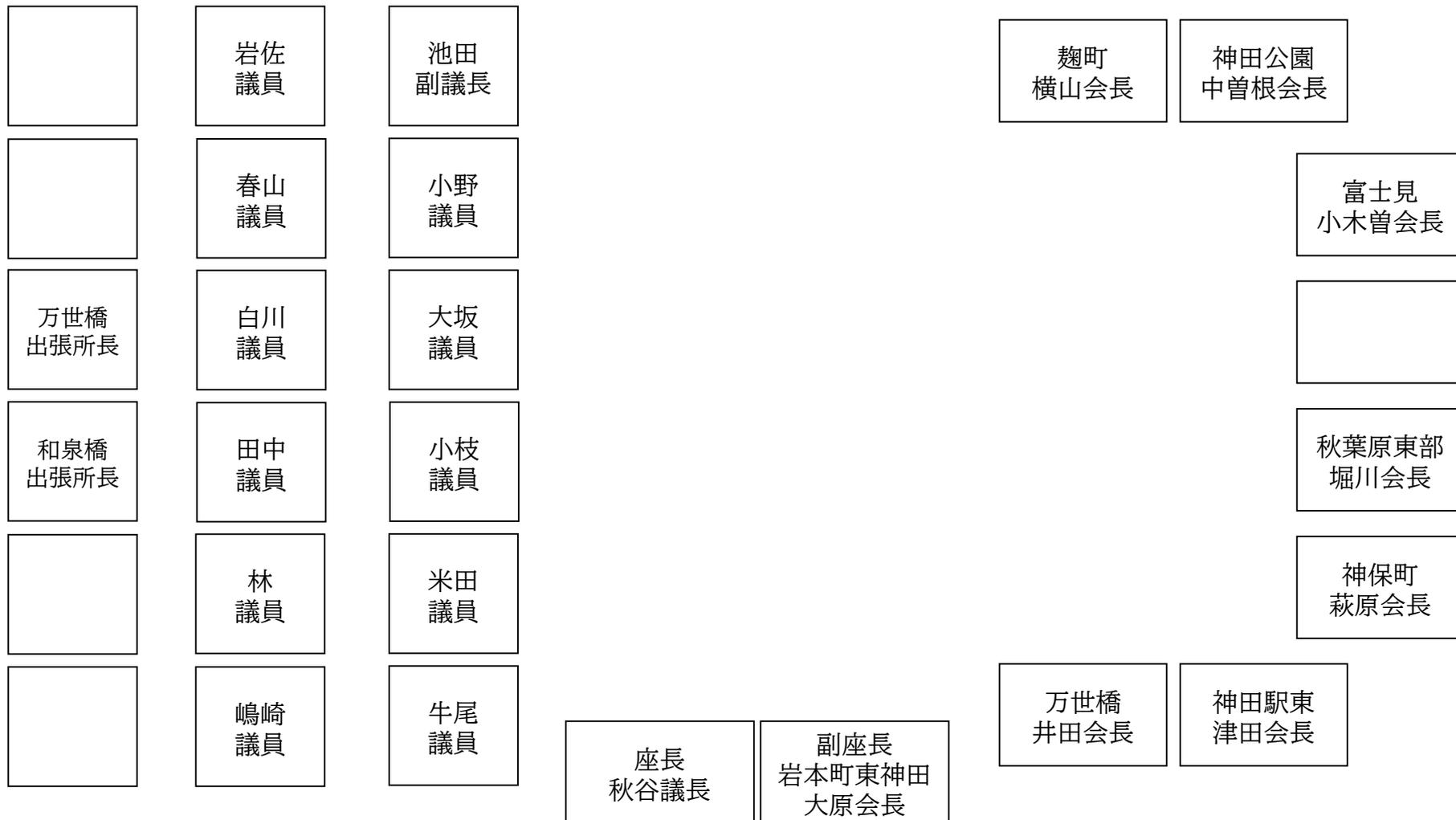
役職名	氏名
万世橋出張所長	吉田 守
和泉橋出張所長	宮原 智紀

事務局

役職名	氏名
区議会事務局長	小川 賢太郎
区議会事務局次長	安田 昌一
区議会事務局 調査担当係長	山本 正洋
区議会事務局 庶務係	高橋 あゆ実

令和5年度区民集会運営協議会 座席表

区民集会運営協議会
資料3
令和5年7月24日



区議会事務局
次長

区議会事務局
局長

区議会事務局
(操作卓)

出入口

出入口

区民集会テーマ案

通し番号	テーマ	概要	想定実施内容	想定される成果
1	防災・減災対策の充実	豪雨、地震など近年多発している自然災害に対し、どのように備えればよいか、有事にはどのような行動を取ればよいか、事後にどのようにまちを立て直すのか、自助・共助・公助の視点も踏まえながら検討する。	① 災害対策・危機管理課から区の現状・取組についての講義 ② 有識者等の講義 ③ 災害発生（倒壊、冠水等）想定地域のフィールドワーク（まち歩き等） ④ 事例視察（防災啓発施設、先進地域等） ⑤ ワークショップ（復興計画検討等）	行動指針の策定・周知等 国、東京都等への要望書提出等
2	地球温暖化対策とゼロカーボンの推進	令和2年の「気候非常事態宣言に関する決議」も踏まえて、地球温暖化に対して急務の状況の中、地域での取組に加え、関連団体や関連地域との連携により、温室効果ガスの削減等どのように対策を進めていけるのかを、次世代を担う子どもたちとともに検討する。	① 環境政策課から区の実施に関する講義 ② 有識者等の講義 ③ 先進事例等視察（エコディストリクト先進地域や実証実験等）	子どもたちからの提言 国、東京都等への要望書提出等
3	千代田の歴史と文化の継承	本区の歴史や伝統・文化について、次世代を担う子どもたちと一緒に実体験として受け止め、子どもたちからの提言も受けて、どう未来につなげていくかを検討する。	① 有識者等の講義 ② 江戸城ウォーク、クルーズの実施 ③ フィールドワーク（区内の文化資源等）	子どもたちからの提言 国、東京都への要望書提出等
4	地域空間の有効活用	人口が増加する反面、住民が利用できる空間が不足している。子どもの遊び場やウォークアブルな街並の創造にどのように取り組めばよいか、次世代を担う子どもたちとともに検討する。	① まちづくり担当部署等から区の現状・取組についての講義 ② 有識者等の講義 ③ フィールドワーク（区内想定地域等） ④ 先進事例等視察	子どもたちからの提言 区への提案書の策定等
5	住み続けられるまちを目指して	近年の地価高騰で固定資産税や相続税の負担がこれまで以上に大きくなり、住み続けられないという声が聞かれている。今後も安心して暮らしていけるためにどのようなことができるか検討する。	① 税務担当部署（都等）からの講義等 ② 有識者等の講義 ③ フィールドワーク（地価上昇地域等）	国、東京都等への要望書提出等

区民集会運営協議会設置要綱

(昭和60年5月15日 議長決裁)

改正 平成11年7月5日 議長決裁
改正 平成20年5月12日 議長決裁
改正 平成22年7月14日 議長決裁
改正 平成23年12月8日 議長決裁
改正 平成25年5月30日 議長決裁

(趣旨)

第1条 千代田区民を取り巻く環境は、定住人口の減少によるコミュニティ等の地域活力の低下、都市化による住環境の悪化、少子・高齢化の進展等、一段と厳しさを増している。特に、経済の低成長化の中で区民生活を圧迫している地域経済は、深刻化かつ長期化している。

また、「基礎的地方公共団体」として、地方分権の潮流から一段と自主性・自立性が求められている。

このような状況を踏まえたとき、住民自らが歴史と伝統に培われた千代田区を守り、発展させていくため、千代田区の抱える諸課題に対して、連帯感をもって、主体的に取り組むことが求められている。

このため、住民が一体となって論議する場の必要性が認識され、昭和58年から「区民集会」を開催し大きな成果を収めてきたところである。

さらに、平成8年からはこの「区民集会」が中心となり、都心区が一体となった共同での「区民大会」も開催している。

この「区民集会」を将来にわたってさらに充実発展させていくため、区民集会の企画及び運営等に関する協議の場として「区民集会運営協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 協議会の協議事項は次のとおりとする。

- (1) 区民集会の企画及び運営に関する事項
- (2) 区民集会に対する関係団体との連絡調整に関する事項

(構成)

第3条 協議会は、連合町会長、区議会議長、副議長、議会運営委員会委員により構成する。

(委員の委嘱)

第4条 協議会の委員は区議会議長が委嘱する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、区議会議長が委嘱した日から、第3条に定める各職にある期間までとする。

(座長及び副座長)

第6条 協議会に座長及び副座長を置き、それぞれ次の各号に掲げる職にある者をもってあてる。

(1) 座長 区議会議長

(2) 副座長 千代田区連合町会長協議会会長

2 座長は協議会の運営を司る。

3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるときは、その職務を代理する。

(招集)

第7条 協議会は区議会議長が招集する。

(関係者の出席)

第8条 区議会議長は、必要に応じて協議会に有識者等関係者の出席を求めることができる。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、区議会事務局に置く。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営やその他必要な事項は、区議会議長が定める。

附 則

この要綱は、昭和60年5月15日から施行する。

附 則 (平成11年7月5日11千議発第103号)

この要綱は、平成11年7月5日から施行する。

附 則 (平成20年5月12日20千議発第22号)

この要綱は、平成20年6月1日から施行する。

附 則 (平成22年7月14日22千議発第152号)

この要綱は、平成22年7月14日から施行する。

附 則 (平成23年12月8日23千議発第233号)

この要綱は、平成23年12月8日から施行する。

附 則 (平成25年5月30日25千区議会発第60号)

この要綱は、平成25年5月30日から施行する。

区民集会活動概要（令和 4 年版 千代田区議会活動概要 抜粋）

（1）区民集会の目的

区政を取り巻く状況が刻々と変化する中で、区民自らが歴史と伝統に培われた千代田区を守り発展させていくため、区民と区議会が一体となって地域の抱える諸課題に対して、主体的に取り組み議論する場として、昭和 58 年度から「区民集会」を開催している。

この区民集会の開催にあたり、企画及び運営等に関する協議の場として、連合町会長 8 名及び区議会議員で構成する「区民集会運営協議会」を設置している。

（2）近年の開催状況

令和元年 7 月に、小林たかや議長（当時）を座長とした運営協議会を開催し、「水辺の魅力、千代田の魅力再発見（仮称）」をテーマに水辺の利活用を含めたまちの現状について、区民を募って現地調査を行う区民集会を開催することとした。

令和 2 年度に入ると、新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響により区民集会開催を見送り、また、感染状況により予定が不透明なため改めてテーマを検討し、「治水対策及びお濠の浄化」に決定した。10 月には治水対策についての勉強会を開催し、翌年 4 月には民間が運営するお濠の浄化施設の見学等を行い、知識を深めた。このような活動は、今後の環境問題について考えるひとつのきっかけになるものと整理し、調査を終了した。

令和 3 年度は、桜井ただし新議長を座長とする新たな体制の下、テーマの検討を行った結果、「お濠の浄化について」引き続き取り組むことを決定。12 月にはお濠の現状等を把握するための勉強会を開催した。また、現在の水質浄化に向けた取組み等を踏まえ、区に対して予算要望書を提出することとした。

令和 4 年度に入り、7 月には東京都都市整備局及び下水道局より講師を招いて勉強会を開催。10 月には 4 年ぶりとなる区民集会を開催し、中央大学研究開発機構教授の山田正氏による講演会を実施。水質改善の仕組みや様々な取組み事例について知識を深めた。また、この 1 年間で得た知見をもとに、関係機関に対して水質改善と魅力ある水辺環境の再生について要望書を提出することとした。

(3) 区民集会実施状況

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
昭和 58 年度	11 月 1 日(火) 11 月 2 日(水)	講演会方式 (神田保健所 214 名、一番町児童館 157 名) ○特別区制度を考える千代田区民集会 東京大学教授 大森 彌
昭和 59 年度	11 月 6 日(火) 11 月 7 日(水)	パネルディスカッション方式 (麴町小学校 255 名、神田小学校 332 名) ○基本計画の見直しとまちづくりについて
昭和 60 年度	11 月 6 日(水) 11 月 7 日(木)	パネルディスカッション方式 (麴町小学校 286 名、錦華小学校 478 名) ○まちづくりについて言いたいこと”なんでも” あなたの意見で明日の千代田を!
昭和 61 年度	11 月 6 日(木) 11 月 7 日(金)	講演会方式 (麴町小学校 354 名、神田小学校 433 名) ○住むまち、住めるまち千代田を目指して! あなたが主役、千代田のまちづくり! 東京工業大学教授 熊田 禎宣
昭和 62 年度	11 月 17 日(火) 11 月 18 日(水)	パネルディスカッション方式 (麴町小学校 254 名、佐久間小学校 434 名) ○私たちが主役、千代田の街づくり
昭和 63 年度	11 月 8 日(火) 11 月 9 日(水)	パネルディスカッション方式 (麴町小学校 309 名、神田小学校 376 名) ○私たちが主役、千代田の街づくり
平成元年度	11 月 11 日(土)	寸劇と講談 (区立総合体育館 735 名) ○千代田に住む
平成 3 年度	11 月 13 日(水) ~14 日(木)	町会長を対象としたセミナー (西熱海ホテル 155 名) ○実践! 千代田の街づくり
平成 4 年度	10 月 1 日(木)	区民総決起大会 (九段会館 約 800 名) ○大会スローガン いつまでも住みつづけられる街を! (相続税軽減を求める千代田区民総決起大会)

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 5 年度	10 月 7 日(木)	区民総決起大会 (千代田区公会堂 約 800 名、デモ行進 約 300 名) ○大会スローガン 都心から生活者を追い出さな! (相続税・固定資産税大幅減税千代田区民総決起大会)
平成 6 年度	11 月 9 日(水)	区民総決起大会 (一橋中学校 約 600 名) ○大会スローガン 住み続けます このまちが好きだから (固定資産税・相続税大幅減税千代田区民総決起大会)
平成 7 年度	11 月 6 日(月)	区民総決起大会 (千代田区公会堂 約 650 名、デモ行進 約 450 名) ○大会スローガン 千代田で住みたい!わたしのふるさと (固定資産税・相続税大幅減税千代田区民総決起大会)
平成 8 年度	11 月 13 日(土)	都心 4 区区民大会 (九段会館 約 1,500 名) ○大会スローガン いつまでも住み続けられるまちにしよう (固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心 4 区区民大会)
平成 9 年度	11 月 4 日(火)	都心 5 区区民大会 (日比谷公会堂 2,107 名) ○大会スローガン いつまでも住み働き続けられるまちにしよう (固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心 5 区区民大会)
平成 10 年度	7 月 28 日(火)	区民大会 (秋葉原駅前広場 約 800 名) ○大会スローガン 夢のある 21 世紀の秋葉原を Next AKIBA. (21 世紀のアキバをつくる千代田区民大会)
	10 月 28 日(水)	都心 6 区区民大会 (九段会館 約 1,200 名) ○大会スローガン このまちに住み働き続けたい! みんなの願いです (固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
		心 6 区区民大会)
平成 11 年度	11 月 2 日(火)	都心 6 区区民大会 (九段会館 約 1,130 名) ○大会スローガン このまちの未来と子どもたちのために 実現しようみんなの願い! (固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心 6 区区民大会)
平成 12 年度	10 月 20 日(金)	都心 6 区区民大会 (九段会館 約 945 名) ○大会スローガン 21 世紀も住み働き続けたい私たちのまちに 実現しようみんなの願い (固定資産税・相続税の大幅軽減を求める都心 6 区区民大会)
平成 13 年度	10 月 5 日(金) 10 月 23 日(火)	区民会議、第 4 委員会室 区民会議、第 4 委員会室 ※千代田区民会議として発足し、要請行動を行った。その開催日を実施日として掲載。 ○連合町会、町会、業種別団体等の代表者による署名及び陳情書の提出 (固定資産税の大幅減税を求める千代田区民会議) 「固定資産税の大幅減税陳情書」の提出 11 月 2 日 (金) 総務大臣、財務大臣 11 月 5 日 (月) 東京都知事、東京都議会議長 11 月 14 日 (水) 政府税制調査会会長
平成 14 年度	9 月 2 日(月)	固定資産税・相続税の大幅減税を求める千代田区民会議セミナー (千代田区公会堂 約 350 名) 「固定資産税・相続税の大幅減税陳情書」の提出 10 月 28 日 (月) 財務大臣、政府税制調査会会長 10 月 29 日 (火) 東京都知事、東京都議会議長 10 月 31 日 (木) 総務大臣

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 15 年度		<p>※本年度より、固定資産税・相続税の大幅減税を求める要請行動については、執行機関が行っていくことになり、活動方針について確認した。その日を実施日として掲載。</p> <p>○連合町会、町会、業種別団体等の代表者による署名及び陳情書の提出 「固定資産税・相続税の大幅減税陳情書」の提出</p> <p>12月17日（水）財務大臣 12月19日（金）総務大臣、政府税制調査会会長 12月24日（水）東京都知事、東京都議会議長</p>
平成 16 年度		<p>※固定資産税・相続税の大幅減税を求める要請行動は、執行機関が主体となり、区議会や町会とともに要請行動を行った。</p> <p>○連合町会、町会、業種別団体等の代表者による署名及び陳情書の提出 「固定資産税・相続税の大幅減税陳情書」の提出</p> <p>11月18日（木）東京都知事、東京都議会議長 12月10日（金）総務大臣、政府税制調査会会長 12月13日（月）財務大臣</p>
平成 17 年度		<p>○各連合町会会長の連名による要望書の提出 「三位一体の改革による住民税フラット化に関する要望書」の提出</p> <p>12月13日（火） 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済財政政策担当大臣、衆議院議長、参議院議長</p>
平成 18 年度	9月11日(月)	<p>○千代田マンション管理交流会との意見交換会（第4委員会室 21名）</p> <p>○マンション住民との共生 「マンション住民からみた地域との交流の実態、事例等、マンション住民の意識など」</p>
	12月15日(月)	<p>○千代田マンション管理交流会と議会運営委員との懇談会（第4委員会室 27名）</p> <p>○マンション居住者と地域との関わりや、マンション居住者と行政の関わり方</p> <p>①既存のコミュニティ組織（町会）とマンション居住者との共生のあり方 ②マンション居住者への区役所・出張所の支援のあり方</p>

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 19 年度	—	—
平成 20 年度	10 月 20 日(月)	区民集会運営協議会（第 1 委員会室） ○今後の区民集会について
平成 21 年度	11 月 20 日(金)	区民講演会：皇居周辺の景観と観光を考える （7 階議場 約 150 名） ○テーマ「皇居の自然と区民の暮らし」 レストランジャーナリスト 犬養 裕美子 明治大学大学院教授 青山 侑
	2 月 23 日(火)	区民講演会：皇居周辺の景観と観光を考える （第 1・第 2 委員会室 85 名） ○テーマ「江戸の見附で千代田を見つける」 一級建築士 木下 栄三
平成 22 年度	5 月 18 日(火)	歩いて知ろう！江戸城ウォーク（皇居・東御苑 周辺 約 200 名） ○専門のガイドによる皇居東御苑等のツアー
	8 月 25 日(水)	宮中雅楽と観光の夕べ（和田倉噴水公園レスト ラン 約 100 名） ○区内の観光関係団体と皇居やその周辺の景 観について、観光の視点から考えるための意見 交換会。宮内庁による雅楽の演奏
	10 月 14 日(木)	千代田の景観と観光を考えるシンポジウム （明治大学駿河台キャンパス 約 400 名） 講演会・パネルディスカッション ○テーマ「江戸時代の武士と庶民、 そして現代社会」 パネルディスカッション ○テーマ「江戸時代から現代、そして未来へ —千代田の魅力を再発見—」
	10 月 30 日(土)	江戸城ウォーク、オープンバスから眺める千代 田の史跡ツアー ※荒天により中止
	11 月 6 日(土)・ 13 日(土)	オープンバスから眺める千代田の史跡ツアー （皇居周辺 各回約 200 名） ○1 日 6 便運行、計 2 日間開催

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 23 年度	12 月 16 日(金)	区民集会運営協議会（第 1 委員会室） ○今後の予定について
平成 24 年度	10 月 22 日(月)	講演会方式（共立講堂 約 400 名） ○テーマ「東京の震災を考える ーそのとき千代田は？わがまちは？ー」 明治大学政治経済学研究科特任教授 中林 一樹
平成 25 年度	10 月 28 日(月)	講演会方式（7 階議場 約 120 名） ○テーマ「災害につよいコミュニティづくり ～マンションと地域コミュニティ～」 防災危機管理アドバイザー 山村 武彦
平成 26 年度	11 月 18 日(火)	講演会・パネルディスカッション （共立講堂 約 400 名） ○テーマ「災害につよいコミュニティづくり ～マンションと地域コミュニティ～」 第一部 講演会 明治大学大学院教授 青山 侑 第二部 パネルディスカッション パネリスト 麴町消防団本部副分団長 木ノ島希久子 神田淡路会会長 大塚 實 麴町消防署長 齋藤 祐治 千代田区副区長 山口 正紀
平成 27 年度	2 月 12 日(金)	区民集会運営協議会実施（第 2 委員会室） ○区民集会のテーマについて
平成 28 年度	7 月 19 日(金)	区民集会運営協議会（第 2 委員会室） ○区民集会のテーマについて ○座長案の確認
	11 月 2 日(水)	区民集会運営協議会（第 2 委員会室） ○舟運による河川視察（案）について ○今後の方向性について確認
	2 月 27 日(月)	区民集会運営協議会（第 2 委員会室） ○舟運による河川視察（案）について ○視察内容、実施時期の確認

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 29 年度	4 月 27 日(木)	区民集会運営協議会（和泉橋出張所） ○舟運による河川視察について ○神田川、日本橋川、隅田川、豊洲運河を舟運により視察実施
	10 月 31 日(火)	区民集会運営協議会（第 2 委員会室） ○今後の予定について ○河川の他、濠も含めた水辺の利活用と区民集会開催に向けた勉強会について確認
平成 30 年度	4 月 11 日(水)	区民集会運営協議会、勉強会 （第 1、第 2 委員会室） ○テーマ「千代田の水辺空間 ～その歴史・文化と未来への可能性～」 法政大学特任教授 陣内 秀信
	7 月 27 日(金)	区民集会運営協議会、勉強会 （第 1、第 2 委員会室） ○テーマ「外濠と神田川・日本橋川の水質について、神田川上流部強雨時における下流部の洪水影響」 中央大学教授 山田 正 ○テーマ「被災時における防災船着場の役割」 まちふね未来塾 阿部 彰
	10 月 29 日(月)	区民集会（7 階議場 約 60 名） 意見発表、パネルディスカッション ○テーマ「水辺の利活用について」 第一部パネリスト意見発表 第二部パネルディスカッション まちふね未来塾 阿部 彰 建築家、画家 木下 栄三 まちふね未来塾 高松 巖 ちよだりバーサイドプロジェクト 岡田 邦男 千代田区環境まちづくり部長 保科 彰吾 ○議長、各連合町会長連名による要望書の提出 「皇居周辺の水質改善を求める要望書」の提出 12 月 12 日(水) 国土交通大臣、環境大臣、東京都知事 （なお、区議会として同趣旨の「意見書」を議決し送付）

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
平成 30 年度	2 月 4 日(月)	区民集会運営協議会実施（第 2 委員会室） ○区民集会の結果について ○今後の予定について
令和元年度	7 月 18 日(木)	区民集会運営協議会実施（第 2 委員会室） ○区民集会のテーマについ
	9 月 17 日(火)	区民集会運営協議会実施（第 2 委員会室） ○区民集会のテーマについて
	11 月 22 日(金)	区民集会運営協議会実施（第 1 委員会室） ○区民集会のテーマについて
令和 2 年度	7 月 21 日(火)	区民集会運営協議会実施（第 1 委員会室） ○区民集会のテーマについて
	10 月 22 日(木)	区民集会運営協議会実施（本会議場） ○治水対策について ・国土交通省提供の映像「荒川氾濫」視聴 ・ハザードマップを用いた説明 千代田区災害対策・危機管理課長 千賀 行
令和 3 年度	4 月 22 日(木)	区民集会運営協議会、 視察（大手町タワー ENEOSビル 3×3 Lab Future） ○お濠の浄化について ・浄化施設の見学 ・お濠の現地調査
	7 月 19 日(月)	区民集会運営協議会実施（第 1 委員会室） ○区民集会のテーマについて
	10 月 28 日(木)	区民集会運営協議会実施（第 1 委員会室） ○区民集会のテーマについて
	12 月 14 日(火)	区民集会運営協議会、勉強会(第 1 委員会室) ○お濠の浄化について ・「水都ちよだの復興を目指して」 千代田区環境まちづくり部長 印出井 一美 ○今後の取り組みについて ・運営協議会として、区に予算要望書を提出することを決定

実施年度	実施日	大会の方式・テーマ
令和 3 年度	1 月 11 日(火)	○座長、副座長連名による予算要望書を区長宛てに提出 「アオコの除去を行うなどの水質改善対策」 「水質調査・分析評価」 「水辺空間が潤い、憩い、賑わい、交流の空間として再生するための調査・研究」を要望
令和 4 年度	7 月 21 日(木)	区民集会運営協議会、勉強会 (第 1、第 2 委員会室) ○テーマ「お濠の浄化」 東京都 都市整備局 都市づくり政策部 広域調整課 水資源・建設副産物担当課長 増井 潔 下水道局 計画調整部 計画課 水質改善事業推進専門課長 川名 幸男
	10 月 28 日(金)	区民集会講演会(本会議場 約 60 名) ○テーマ「東京水循環の再生に向けて－外濠・日本橋川・玉川上水・隅田川－」 中央大学名誉教授 同大学研究開発機構教授 山田 正